



油断禁物！「結核」は過去の病気じゃない！！

令和4年10月5日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和4年第39週分・9月26日～10月2日)

《インフォメーション》

●結核

結核は過去の病気と思われがちですが、今もなお、毎年1万例を超える新規結核患者が全国で報告されています(上図)。また、既感染を含め約2千例が亡くなっています。国内では新規患者数の減少傾向が続いており、2021年に人口10万人当たり9.2例と結核低まん延国の基準の10例を下回りました。富山県では、2021年に84例の新規患者が報告されました。患者の年代は高齢者に多い状態が続いています(下図)。また、20～30歳代の患者では外国生まれの方が多く特徴があります(20代では約70%、30代では約50%)。

結核は、結核菌を原因とする感染症です。結核菌は肺に侵入して病巣を作ることが多く、患者の咳などに含まれる菌が飛散し、空気中を浮遊します。人が結核菌を吸い込むことで感染します(空気感染)。感染しても通常は免疫により菌の増殖が抑えられるため、感染者の8～9割は発病することなく一生を過ごします。

一方、感染者の1～2割は発病し、その多くは感染後6ヶ月～2年までに発病するとされています。また、加齢などで免疫力が低下することで発病する場合があります。結核は、発病しても早期発見、治療により治る病気です。しかし、肺結核は、咳、痰、微熱や倦怠感などの軽い症状が長引き、気づかないうちに進行してしまふことがあります。このような症状が2週間以上続き、いつもの風邪症状と異なるようであれば、その旨を医師に相談してください。早期診断につなげることが大切です。

また、乳幼児の場合、抵抗力が弱く、感染すると重症化します。このため、乳幼児には定期接種対象年齢(推奨時期：生後5～8ヵ月未満)にBCGワクチンを必ず接種させましょう。

《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 2,827件※

二類感染症 結核 2件(①70歳代、女性 ②80歳代、女性)

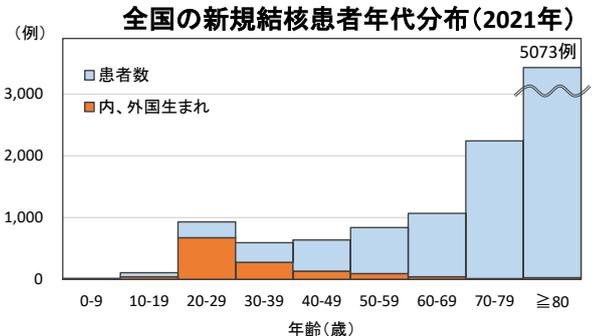
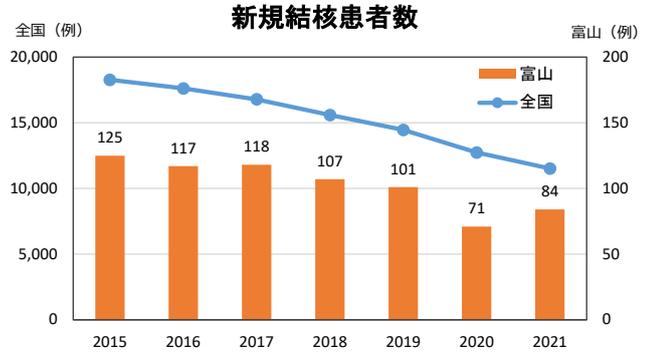
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件(80歳代、女性)

※第38週以前は診断日に基づき集計していたが、全数把握の見直しに伴い、公表日に基づく集計に変更。

《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.17(↑)	1.83
2位	RSウイルス感染症	1.79(↑)	0.45
3位	手足口病	1.69(↓)	1.76
4位	ヘルパンギーナ	0.66(↑)	0.41
5位	突発性発しん	0.21(↑)	0.03
6位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.14(↓)	0.24
	流行性角結膜炎	0.14(→)	0.14

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



出典：厚生労働省 2021年結核登録者情報調査年報



○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第39週 令和4年9月26日～令和4年10月2日）

分類	疾患	今週報告分（第39週）						累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症 ※1							2,827							124,875
二類感染症	結核				1	1		2	2	4	30	11	28		75
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								2	2	4	1	10		19
四類感染症	E型肝炎								1						1
	つつが虫病									1					1
	レジオネラ症								4		10	5	11		30
五類感染症	アメーバ赤痢										1		2		3
	ウイルス性肝炎										3				3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1		1			5	2	7		14
	急性脳炎										4				4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								3		5		8		16
	後天性免疫不全症候群										1		1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1		4		5
	侵襲性肺炎球菌感染症										3		5		8
	水痘（入院例）								1	1			3		5
	梅毒								2		9	3	23		37
	播種性クリプトコックス症												3		3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症												1		1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										2				2
	RSウイルス感染症	2 0.50	14 4.67	10 1.25		26 2.60		52 1.79	33	65	330	74	379		881
	咽頭結膜熱	1 0.25						1 0.03	57	37	155	12	117		378
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1 0.13		3 0.30		4 0.14	33	10	111	22	192		368
	感染性胃腸炎	14 3.50	9 3.00	18 2.25	3 0.75	19 1.90		63 2.17	669	656	1,708	615	2,074		5,722
	水痘								3	9	49	3	33		97
	手足口病	5 1.25	3 1.00	7 0.88	4 1.00	30 3.00		49 1.69	77	167	535	61	439		1,279
	伝染性紅斑								2	1	5	1	7		16
	突発性発しん	1 0.25		5 0.63				6 0.21	24	26	122	31	95		298
	ヘルパンギーナ	4 1.00	1 0.33	4 0.50		10 1.00		19 0.66	90	113	63	4	60		330
	流行性耳下腺炎								1		5	4	1		11
	流行性角結膜炎			1 0.50				1 0.14	10	4	9				23
	細菌性髄膜炎											1	1		2
	無菌性髄膜炎												1		1
	マイコプラズマ肺炎									1	1	1			3
インフルエンザによる入院患者（※3）														0	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 報道発表資料の公表日に基づき集計。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。
 ※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。